



融和と前進

第2回村民運動会

8月16日開催決定

雨天の場合は8月17日

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.84

新年度予算きまる

2億円(一般会計)を超える大型健全予算

税収入は27.4%

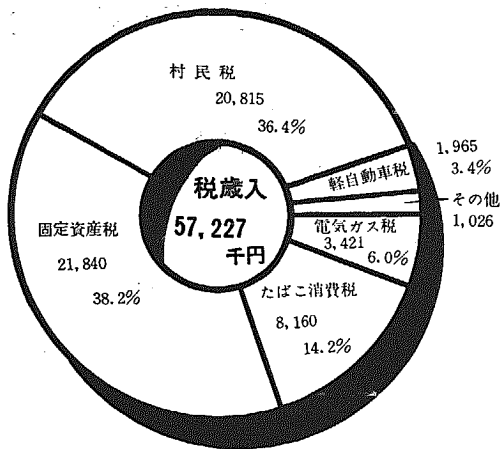
予算編成にあたって

岩室村長 横山善八郎



昭和四十四年度予算編成について、その指針を申し述べます。

戦後日本経済が、高度成長の施策に基づき、急速なる



連年の予算編成を重ねてきたのであります。蓋し、新村の基礎的建設事業が町村合併の必須条件でもあり、本年一〇〇年の基礎を見え出さぬ限り将来への道程を定める事ができない道理に立脚し、稍々もすれば、住民サービス福祉の向上が延びて来た事は、やむを得ない過去の現象であったと言ひ得るのであります。

従いまして、本年の予算編成に当り特に、大所高所から岩室村の現況を把握し、将来への展望に立つて、其の指針を求めたつもりでございます。もとより、本村行政の根幹は農業であり、これらを支えるものが、商観工業、循環政策が希求される課題であらうと信じます。

最近の広域化されつつある行政の中にあつて村内各所に大小の、ひずみが派生して居り、稍々もすれば過密過疎の現象が見られつつある今日を憂慮し、敢て村民対話の村政を試み、昨春移動役場の開設を村内、三十八部落に求め、全村民の生の声を集録し、之れを昨年未発行に及んだ訳であります。その御意見、要望を取りまとめ、総計二十八件に及び、現在までの実行分一二二件(四二・五%)、本年、四〇件(一四・〇%)、今後には検討及び実行

を迫られようとしているもの二二五件(四三・五%)であります。現在、住民の要請に御応えされる数字が一六二件(五六・五%)、半数を上廻つたことは住民の皆さんの御協力の賜と感謝申し上げます。今後とも住民各位の御意見、御要望を尊重し村ぐるみの行政の確立に努力いたす所存で御座います。

擬て第一点に道路の抜本的対策と河川改修を挙げます。道路は文明文化のパロメーターと言われておりますが、近年国県道の改良舗装化が進められ、現在その総延長の四七・八%が舗装化されておりますが、本年

の県道改良舗装に約六〇、〇〇〇千円で村費の持出しを六四四九千円と踏んでおります。

弥彦山スカイラインの完成を来年四月に予想し陸高速自動車道路、海岸道路の建設等更に益々増大するであろうところの交通需要に 대응外村の交通需要に大きな変革をもたらそうとする転機に致来した訳であります。よつて本年は時代の要請に依り、和納・間瀬線海岸道路の継続工事の推進を図り、和納・門田線の改良舗装、石瀬・吉田線の改良工事の着手を計画して居る内では村道主要幹線の大巾な道路改良計画を

